

# 通

二年

画数 10  
筆順 マ・マ・百 百 通

オン ツウ・ツ  
クン とおひるりす・かよりう

成り立ち



「柵」の上に「人」が見えるかたちの「通」と「みち」をすすむ「い」みをあらわした「通」とをくみあわせてつくった字です。「柵」によってまもられているみちを、あんしんしてすすむ「こと」をあらわした字です。「とおる」こと。もくてきちまで、なんのさしさわりもなくいきつけることが「とおる」ということです。

「はりにいとが」「通る」「いとを」「通す」というようににもつかえます。

また、「かよう（まいにちいつたりきたりする）」といういいみにもつかえます。

### 使い方

- ▽通路にものをおくと、じやまになりますから、かたづけして下さい。
- ▽わたしは、こうえん通りを通過して、学校に通っています。
- ▽おばあちゃん、目がおいので、はりにいとを通過することができません。いつも、わたしが、おばあちゃんのかわりに、はりにいとを通過します。でも、おばあちゃん、とてもぬいものがじょうずです。
- ▽わたしは、大阪にすんでいるともだちと、文通しています。
- ▽学校から、父母会の通知がありました。

### 熟語例

- ▽通路（通り路）
- ▽通学（学校に通うこと）
- ▽通勤（勤めに通うこと）
- ▽開通（てつどうや、どうろなどが、できあがって、通れるようになること）
- ▽文通（文を通わすこと。てがみを、やりとりすること）
- ▽通知（知らせること）

# 弟

二年

画数 7  
筆順 ヨ・ム 弟 弟

オン テイ・ダイ・デ  
クン おとうと

成り立ち



ほこのかたちをあらわした「弟」に、なめしがわをまきつけるようすをあらわした字です。ほこのえに、すべりじめのために、なめしがわをまきますが、そのまきかたの「じゅんじよ」がたいせつなので、その「じゅんじよ」といういみをこの字であらわしました。

のちに、「兄弟」の「じゅんじよ」のいみから、「おとうと」といういみをあらわす字としてつかわれるようになりました（そのため、「じゅんじよ」といういみの字に「弟」という字をつくりました）。

「漢音のテイがおおく使われ、呉音のダイは「兄弟」といういいかたくりである。デはダイのつづまったもので、「弟子」に使われている。」

### 使い方

- ▽わたしの弟は三つです。とてもげんきで、いつもそとで、どろだらけになってあそんでいます。
- ▽うみさち・やまさちという兄弟がおりました。うみさちは、うみにさかなをとりにいきました。弟のやまさちは、やまにかりにでかけました。

### 熟語例

- ▽兄弟（兄と弟。男のきょうだい。「ケイテイ」とよむこともあります。はなしことばでは「キョウダイ」とよむのが、ふつうです。）
- ▽義弟（義理の弟。おとうさんが、おかあさんが、じぶんたちがう弟のことをいうのが一つ。もう一つは、の弟」ということになって、「義弟」と、よばれます。じぶんのとおとうさんとおかあさんと、おなじおとうさん、おかあさんから生まれた弟は「実弟」とよびます。）
- ▽従弟（としたの、男のいとこ。おとうさんが、おかあさんの、きょうだいのこどもを「いとこ」といいます。）